



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナカヨ通信機

コード番号 6715 URL <http://www.nvc.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長兼CEO (氏名) 谷本 佳己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括本部長 (氏名) 加藤 英明

TEL 027-253-1006

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,658	10.5	568	125.7	592	107.4	578	95.1
23年3月期第2四半期	6,931	10.7	251	—	285	—	296	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 541百万円 (136.3%) 23年3月期第2四半期 228百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	26.29	—
23年3月期第2四半期	13.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	18,595	14,060	75.5
23年3月期	17,654	13,630	77.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,044百万円 23年3月期 13,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	12.2	900	177.8	930	124.3	780	86.9	35.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	23,974,816 株	23年3月期	23,974,816 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,983,513 株	23年3月期	1,980,792 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	21,993,282 株	23年3月期2Q	21,999,229 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断があったものの、製造業における生産設備等の復旧が急速に進み、後半は徐々に持ち直しの傾向が見られました。また、海外の経済状況につきましては、欧州における債務問題の深刻化や米国経済の減速、失業率の増加による経済格差の問題等で不安定さを更に増し、依然厳しい状況が続いています。

このような状況の中、当社グループでは、東日本大震災によるサプライチェーンの寸断や電力不足などの影響を受け、年度当初は、生産の停滞や受注の遅延などを招きましたが、各種対策を講じたほか、サプライチェーンの急速な回復を受け、生産及び受注も持ち直してまいりました。また、この間も、夏場の電力削減への協力のほか、生産性の向上による原価低減、間接経費の節減などに取り組んで参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,658百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益568百万円(前年同期比125.7%増)、経常利益592百万円(前年同期比107.4%増)、四半期純利益578百万円(前年同期比95.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ941百万円増加し、18,595百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,075百万円増加し、13,144百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少85百万円があったものの、商品及び製品の増加421百万円、受取手形及び売掛金の増加302百万円、原材料及び貯蔵品の増加265百万円、仕掛品の増加113百万円があったこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ134百万円減少し、5,451百万円となりました。これは主に、前払年金費用の減少75百万円、投資有価証券の減少45百万円、無形固定資産の減少41百万円があったこと等によるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ512百万円増加し、4,535百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ549百万円増加し、3,651百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加463百万円があったこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、884百万円となりました。これは主に、繰延税金負債の減少18百万円、負ののれんの減少11百万円、リース債務の減少10百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ429百万円増加し、14,060百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少38百万円があったものの、利益剰余金の増加467百万円があったこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ90百万円減少し、6,136百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ270百万円減少し、276百万円(前年同期比49.5%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益584百万円、仕入債務の増加額463百万円があったものの、たな卸資産の増加額800百万円、売上債権の増加額302百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ86百万円増加し、240百万円(前年同期比56.2%増)となりました。これは主に、ソフトウェアの取得による支出120百万円、有形固定資産の取得による支出91百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ5百万円増加し、126百万円(前年同期比4.3%増)となりました。これは主に配当金の支払による支出109百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

景気判断においては、一部では、好転の兆しがあるとも言われていますが、欧州での債務問題に端を発した金融システム不安と、それに伴う世界経済の減速感や円高の進行など先行きの不透明感は払拭されておりません。さらに、タイの洪水に伴う新たなサプライチェーン問題なども発生しており、事業を取り巻く環境は楽観を許さない状況にもあります。このように、不安定さはあるものの、下半期には新商品の販売も予定しているほか、新規顧客や新規事業の開拓にも努め、通期の連結業績については、売上高15,800百万円(前年同期比12.2%増)、営業利益900百万円(前年同期比177.8%増)、経常利益930百万円(前年同期比124.3%増)、当期純利益780百万円(前年同期比86.9%増)を予想しております。

なお、タイの洪水の影響については、対策も検討しておりますが、影響範囲も精査中であり、現時点では、その影響度を予想することが困難なため、今回の予想には反映されておりません。その詳細な状況が把握でき、経済情勢なども踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表させていただきます。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,879	4,794
受取手形及び売掛金	4,442	4,745
有価証券	1,417	1,417
商品及び製品	277	698
仕掛品	328	442
原材料及び貯蔵品	517	783
その他	212	268
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	12,068	13,144
固定資産		
有形固定資産	1,906	1,948
無形固定資産	645	603
投資その他の資産		
投資有価証券	1,552	1,506
その他	1,482	1,393
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,033	2,899
固定資産合計	5,586	5,451
資産合計	17,654	18,595
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,856	2,320
短期借入金	40	40
未払法人税等	32	62
製品保証引当金	82	81
賞与引当金	191	283
その他	899	863
流動負債合計	3,101	3,651
固定負債		
退職給付引当金	58	57
役員退職慰労引当金	3	—
負ののれん	46	34
その他	814	792
固定負債合計	921	884
負債合計	4,023	4,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,909	4,909
資本剰余金	4,510	4,510
利益剰余金	4,437	4,905
自己株式	△412	△412
株主資本合計	13,444	13,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170	132
その他の包括利益累計額合計	170	132
少数株主持分	15	16
純資産合計	13,630	14,060
負債純資産合計	17,654	18,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,931	7,658
売上原価	5,270	5,706
売上総利益	1,661	1,951
販売費及び一般管理費	1,409	1,383
営業利益	251	568
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	21	13
負ののれん償却額	11	11
その他	17	16
営業外収益合計	57	44
営業外費用		
支払利息	1	1
支払手数料	12	11
固定資産廃棄損	9	6
その他	0	0
営業外費用合計	23	19
経常利益	285	592
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
投資有価証券評価損	65	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13	—
特別損失合計	78	8
税金等調整前四半期純利益	208	584
法人税、住民税及び事業税	8	54
法人税等調整額	△98	△49
法人税等合計	△89	5
少数株主損益調整前四半期純利益	298	579
少数株主利益	2	1
四半期純利益	296	578

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	298	579
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△69	△38
その他の包括利益合計	△69	△38
四半期包括利益	228	541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226	539
少数株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	208	584
減価償却費	160	162
ソフトウェア償却費	227	184
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	16	92
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3	△0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△23	△3
受取利息及び受取配当金	△28	△16
投資有価証券評価損益(△は益)	65	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13	—
売上債権の増減額(△は増加)	△61	△302
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91	△800
仕入債務の増減額(△は減少)	91	463
長期未払金の増減額(△は減少)	△89	4
その他	46	△91
小計	525	282
利息及び配当金の受取額	28	16
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△18	△26
法人税等の還付額	12	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	546	276
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△63	△57
定期預金の払戻による収入	63	57
投資有価証券の取得による支出	△101	△27
投資有価証券の償還による収入	200	—
有形固定資産の取得による支出	△90	△91
ソフトウェアの取得による支出	△167	△120
その他	6	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△111	△109
その他	△10	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121	△126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	271	△90
現金及び現金同等物の期首残高	5,204	6,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,475	6,136

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは通信機器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。